

令和4年度 大糸線活性化協議会 総会 会議録

日	令和4年5月24日	時間	14:00～14:40	場所	ヒスイ王国館2階 ヒスイ
件名	議案第1号 令和3年度事業報告 議案第2号 令和3年度収入支出決算 議案第3号 令和4年度事業計画 議案第4号 令和4年度収入支出予算				
出席者 (敬称略)	1 出席者 出席者名簿のとおり 2 事務局 産業部：大嶋部長 都市政策課：五十嵐課長、渡辺係長、金子主査、竹田主任主事 商工観光課：大西課長、横川主事				
会議要旨 1 開会（14:00） 2 あいさつ (会長) 米田糸魚川市長 (鉄道事業者) 漆原金沢支社長（JR西日本） (沿線市村代表) 下川白馬村長 3 議事 米田市長が議長として進行する。 ■議案第1号・議案第2号 【事務局】議案第1号・議案第2号について説明 議案第1号 令和3年度事業報告について、概要を説明する。 令和2年12月1日から募集を開始した「大糸線応援隊」の隊員数は3月31日現在、1,890人である。 5月11日に担当者会議、5月24日に幹事会を開催し、6月4日に開催した総会において、令和3年度事業計画、予算等の承認をいただいた。 7月1日から、大糸線定期券購入費の一部助成の申請受付を開始し、申請件数は12件であった。 7月15日から大糸線利用促進事業助成として、大糸線に乗るイベントに対しての助成を実施し、助成件数は3件であった。 9月1日から10月31日まで、「大糸線応援隊 隊員の輪キャンペーン」として、隊員から家族友人等へ応援隊を紹介し、登録していただくキャンペーンを行った。 9月～11月の第2土曜日にサイクルトレインを運行し、合計で41名利用いただいた。 9月17日から11月3日まで、えちごトキめき鉄道と北越急行との共催でコラボラリーを実施し、大糸線では南小谷駅にスタンプを設置した。 10月18日からは、糸魚川市・小谷村・白馬村・大町市の年少から年長の子ども達を対象に「幼児切符（とくべつきっぷ）」を配布した。 11月3日には、えちごトキめき鉄道のリゾート列車 雪月花の大糸線乗り入れを実施し、					

「塩の道」をテーマに直江津～南小谷間は雪月花、南小谷～塩尻間は特急あずさに乗車するツアーを実施した。

11月13日から12月26日まで、大糸線に乗って温泉巡りをしていただく、大糸線「鉄道×温泉」湯めぐり手形すたんぷらりいを実施し、41件応募いただいた。

議案第2号 令和3年度収入支出決算について、決算額のみ説明する。

収入の部では、1負担金は、3,600,000円であり、内訳については備考欄のとおりである。

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の一部を中止したことに伴い、予算額の半額を納入いただいたものである。

2繰越金は、2,661,125円であり、前年度からの繰越金である。

3雑収入は、148,889円であり、雪月花大糸線乗入運行の事業負担金と預金利息である。

以上、収入合計は、6,410,014円となっている。

支出の部では、1会議費は、38,585円であり、総会開催のための経費である。

2事務費の支出はない。

3事業費は、3,047,412円であり、主なものとして、湯めぐり手形事業に615,586円、大糸線応援隊事業に848,754円、雪月花大糸線乗入運行などの企画列車に907,291円、イベント助成に225,244円 等となっている。

4予備費の支出はない。

以上、支出合計は、3,085,997円となっている。

収入金額6,410,014円から支出金額3,085,997円を差し引いた3,324,017円については、翌年度へ繰り越しとする。

【監事】会計監査について報告

【質疑応答】なし

議案第1号・議案第2号は承認された。

■議案第3号・議案第4号

【事務局】議案第3号・議案第4号について説明

議案第3号 令和4年度事業計画について、説明する。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、鉄道事業者との協働・協力、関係自治体との広域連携を活かしながら、大糸線全線開通65周年を記念し、直接「乗り」につながる事業を展開していきたいと考えている。

「1 会議の開催」については、協議会の規約にある総会と幹事会のほか、必要に応じて担当者会議も開催する。

「2 生活利用の促進」では、「(1) 潜在利用者への働き掛け、新規利用者の開拓」として、沿線住民への大糸線利用促進の情報発信、大糸線の糸魚川駅から南小谷駅間の定期券購入費の一部助成を引き続き行う。

「3 観光利用の強化」では、「(1) 沿線の観光魅力や集客力の創出と向上」として、大糸線を利用して沿線の温泉施設をめぐる「湯めぐり手形」事業、大糸線を利用した観光モデルコースの作成を引き続き行う。「(2) 沿線の観光魅力の情報発信」として、大糸線応援隊の隊員に協力をいただきながら、ホームページやSNSなどを利用して、大糸線関連の情報発信を行う。「(3) Hakuba Valley と連携した観光振興」として、旅行会社の大糸線の乗車が含まれる関西方面からのツアーの企画・広告宣伝を引き続き行う。「(4) 訪日外国人の

誘客促進や鉄道ファンの取り込み」として、えちごトキめき鉄道及び北越急行と連携したスタンプラリー、大糸線沿線の宿泊施設の宿泊者へ大糸線無料券（回数券）の配布を引き続き行う。大糸線応援隊事業については、隊員からのアイデアもいただきながら、隊員限定イベントの実施など、引き続き利用促進に取り組む。大糸線全線開通 65 周年 P R アイテム等の製作については、65 周年記念のロゴマーク、ノベルティグッズなどを製作する。「(5) 車両自体の観光魅力や輸送サービスの創出と向上」として、企画列車については、大糸線利用促進輸送強化期成同盟会と連携して、大糸線全線開通 65 周年記念の企画列車の運行やサイクルトレインなど鉄道事業者や関係団体と調整して取り組む。北アルプス日本海広域観光連携会議と連携し、サイクリストが列車内に自転車を持ち込む際に使用する輪行バッグ貸出しの取組を引き続き推進する。

「4 地域連携・協働」では、大糸線乗車を条件としたイベント等への助成、大糸線沿線で花の植栽を行う「花いっぱい事業」を引き続き行う。

「5 その他」では、「事業計画の確認・振り返り」として、事業実績や平均通過人員などにより、事業計画の振り返りを行いたいと考えている。

事業の実施については、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、実施時期や実施内容など協議のうえ進める。

議案第 4 号 令和 4 年度収入支出予算について、予算額のみ説明する。

収入の部では、1 負担金は、7,200,000 円を計上しており、内訳については、備考欄に記載のとおりである。

2 繰越金は、3,324,017 円を計上しており、前年度からの繰越金である。

3 雑収入は、983 円を計上しており、預金利息等である。

以上、収入合計は、10,525,000 円となっている。

支出の部では、1 会議費は、50,000 円を計上しており、総会等の開催経費である。

2 事務費は、50,000 円を計上しており、内訳については、事務用消耗品代等である。

3 事業費は、10,400,000 円を計上しており、内訳については、備考欄に記載のとおりである。

4 予備費は、25,000 円を計上している。

以上、支出合計は、10,525,000 円となっている。

なお、事業計画、執行状況等に応じて、科目間の予算流用ができるものとし、次年度の総会開催時までの経費の執行については、会長に一任願いたいものである。

【意見】

(会 員) 令和 4 年度の事業計画で企画列車の説明があったが、今年は大糸線全線開通 65 周年の記念すべき年である。大糸線に関係する団体は、大糸線利用促進輸送強化期成同盟会、大糸線ゆう浪漫委員会、日本海ひすいライン等利用促進協議会など複数あるので、皆さんを巻き込んで、65 周年記念事業を開催できればと思う。みんなで力を合わせて大糸線を盛り上げ、糸魚川—松本間は 1 本の路線であると皆さんに知っていただけるようにしていきたいと考える。

(会 長) 大糸線は全線開通 65 周年を迎える大きな節目の年である。大きくアピールしながら進めていきたいと考えるので皆さんのご協力をお願いしたい。大糸線応援隊については、応援隊だけの事業だけでなく、色々な事業に声がけをさせていただき進めていきたい。来ていただく機会や、お出でいただきお知恵をいただく機会を作って

いきたいと考える。その際、事業者の皆さまにはお世話になるがよろしく願いたい。

議案第 3 号・議案第 4 号は承認された。

4 その他

※なし

5 閉会（14:40）

以 上